

# 平和憲法・9 条をまもる 岩手の会 ニュース No.60

2010.8.5

発行：平和憲法・9 条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

## みどりの地球を！ 次世代に！！

メッセージ

### ◆岩手県原爆被害者団体協議会（被団協） 名誉会長 齋藤政一



現在、核保有国の核爆弾は2万発を超え、老朽化した倉庫積載分を含めれば10万発以上と言われる。原爆戦争が起これば、地球上の生物絶滅、原爆噴煙で太陽熱が奪われ、死と化した地球では新鮮な緑の喜びが絶えてしまう。太陽系唯一のみどりの地球破壊こそ最大の犯罪であり、「みどりの地球を次世代に引き継ぐ」ことが最大の課題と責務である。

▲NPT再検討会議ニューヨーク行動にて 名医も治し得ない放射能後遺症、何より生涯気がかりの絶えない子孫への遺伝障害、「あの時原爆被爆にあわなかったら!!」苦痛苦悩の湧くたびに当時の地獄悲惨がよみがえる。

原爆投下した米軍は、被爆者を隠し傷害治療のカルテや解剖資料を持ち去り、情報を開示せず生きれる被爆者も死骸にした。今もカルテは米国にある。放射能初期情報の隠蔽で、被爆治療は2ヶ月で打ち切れ自費が原則となった。以後12年、国は原爆被爆者を放置。原爆時死者約50万人放射能被爆者約50万人の被害を、広島14万人長崎7万人と原爆実相を隠した。それが裏目に出て、今日の核保有国の増大がある。被爆者救援訴願者は左翼国賊扱いをされ、警察に監視された。

核兵器を廃絶し、「みどりの地球を次世代に」の最大効薬は、原爆の脅威や地獄の実相の衆知のみと信じて、警察の尾行に堪え、戦後間もない昭和24（1949）年以来約60年間、右手に核廃絶、左手に被爆者救援の両輪をかざした生涯の中で、岩手県原爆被害者団体協議会の推進、国内、欧米への原爆語り部活動をしてきた。

2010年5月、5年前の会議を挽回、成功させるため、87歳被爆者最高齢で自費参加し渡米した。今回参加の目的は悲願50年来の国連本部内原爆パネル展の成功であった。世界の首脳等約190カ国の見学者に可能な限り被爆の実相、核廃絶、平和を訴えた。優秀な通訳の寄与にも幸いし、参観各国人と共に泣き共に笑い、抱擁と固い握手の連続に手ごたえを感じ、渡米の意義を実感した。「パネル展参観時の被爆実相話に感動した」「著作本、資料がほしい」など帰国後、文通やメールの送受など相次ぎ広範囲に亘る新たな展開に多忙となった。今回は何とか合意文書にこぎつけたが、軍備熱中の中国、北朝鮮、ロシアの核に囲まれ、平和の保障はない。核戦争に勝者は無く、唯一の被爆国日本は滅亡に繋がる核戦争、核保有の愚を悟らしめ、核廃絶と世界平和訴求の先陣たるべきである。被爆脅威の実相開陳こそ最大の外交戦略であり、去る6月中旬日本外務大臣に要請書を手交した。

被爆65年が経過し、むしろ年々脅威を覚える核被害の増大を阻止し、安全な世界造成の根幹に更なる被爆実相展開、死没減少を辿る被爆者証言こそ最大重要で、被爆者の私は生きている限り息の続く限り被爆実相絶叫を果たしたい念願でいる。

**今月の署名行動** 8月は9日(月)12:00~12:45に「肴町アーケード入口」にて行います。是非参加ください！

笑った！泣いた！

爆笑コントで平和憲法の素晴らしさが伝わりました

松元ヒロ「平和ライブ」県内4ヶ所～いわて生協



7月26日、滝沢ふるさと交流館でコメディアン松元ヒロさんの「平和ライブ」を開催しました。今回初めてヒロさんのライブを観ましたが、笑って、泣いて、笑って、楽しかった！

平和が大切、政治がおかしい、世界の中で日本はこれでいいのか？日々、新聞・テレビで繰り返し報道されていますが、心の奥まで響いていたかと言われれば、疑問です。でも、ヒロさんのライブでは分かりやすい言葉で、世の中で起こっていること、派遣村やピースボートなど交流のある方たちの活動のこと、そして自分の信念を語ってくれました。しかも爆笑コントで！某元首相のモノマネも最高（写真）！

人間は安心して、安全で、平和に暮らせるのが一番の幸福だと思います。日本国憲法を人格化したコント「憲法くん」彼の言葉一つひとつをかみしめて、これからも平和を大事に活動していきたいと思えます。ヒロさんありがとう！また観に行きます！！

（盛岡地域実行委員会 大内三紀さん）

いわて生協20周年を記念して平和企画「松元ヒロ平和ライブ」を7月25日からの4日間、陸前高田・滝沢・宮古・久慈で開催し、計550人が参加しました。各会場とも大盛り上がりでした。

## 中津川9条の会 5周年記念 うたごえ喫茶といっしょに開催！

7月25日、盛岡市のいわて生協ベルフ山岸店で中津川9条の会5周年記念の会が参加65人で開かれました。

オープニングに平和の歌を歌い、その後NPTニューヨーク行動の参加報告をいわて生協の伊藤稲子さんと盛岡医療生協の下村次弘さんにいただきました。伊藤さんには中津川9条の会で作ったタペストリーをニューヨークに持って行ってもらいました（写真）。お二人の報告はわかりやすく、なるほどと思える報告でした。また、今回はうたごえ喫茶と共催ということで、歌を中心に楽しみながら平和や9条について考えることができた会になりました。

今後もタペストリーのようなマスコットを作ったり、いろいろな形で参加できる9条の会の活動を続けていきたいと思えます。



▲伊藤稲子さん 国連ロビーにて

（中津川9条の会 中村アエ）

## コラム＝ 憲法9条を通して見えるもの、核廃絶にむけて

☆ 憲法守ろうの運動に触れ、9条や憲法を意識するようになった。はじめは「戦争しない」「武力を持たない」ただそれだけなのに「何を学習するのか」と思ったが、憲法の性格や背景などを学び、社会の見方が変わってきた。考えるようになったのは人権と民主主義。これと相反するのが差別や偏見だと思う。

憲法の「学習」には、日本やアジアの歴史が関わってくる。今年は「日韓併合100年」ということで関連の特集番組なども多い。いろいろ知る中で思いがけず差別や偏見を自覚することもある。憲法・9条を通して歴史を見ることで、差別や偏見を克服し、人権や民主主義を根付かせることができるのではないだろうか。

☆ NPT再検討会議では核兵器廃絶への新たな一歩が踏み出され、8月にはクラスター爆弾禁止条約が発効された（自衛隊も保有！）。一方で、辺野古への新基地建設、米韓軍事演習に自衛隊が参加など、日本政府には9条どころか軍縮すら頭に無いのだろうか。 （事務局）